

二次審査における提案テーマの検討（案）

二次審査における技術提案書の提案テーマについて検討しました。

1) 二次技術提案の提案テーマ

第1回審査委員会にて提示した「提案を求めるテーマ」を踏まえ、下記を二次審査時に求める提案テーマ（案）」としてまとめました。

提案テーマ	課題
業務の取組方針	「世田谷区本庁舎等整備基本構想」を踏まえた設計業務実施方針を実現するための設計チームの体制ならびに設計業務フローを提案すること。 必須 - 設計業務工程表（とその考え方） （設計業務工程表は別途様式で提出）
< 提案テーマ 1 > 各機能の関係性を考慮した分かりやすく、利用しやすい配置計画について	行政機能、議会機能、区民機能（区民交流機能、区民会館機能）、広場機能それぞれの機能と関係性ならびに敷地の周辺環境に配慮した、全ての人に分かりやすく、利用しやすい、人にやさしい配置計画を提案すること。（基本的方針 1・3・4） 必須 - 建物ごと及び階数毎の概略面積表
< 提案テーマ 2 > 災害対策機能を備えた庁舎計画について	災害時に災害対策本部機能が十分に発揮できる安全、安心な庁舎計画を提案すること。 （基本的方針 2）
< 提案テーマ 3 > 柔軟かつ効率的な執務空間の計画について	将来の行政運営や社会情勢の変化を見据えた柔軟かつ効率的な執務空間の計画を提案すること。 （基本的方針 4）
< 提案テーマ 4 > 高い環境性能を備えた庁舎計画について	イニシャルコスト及びランニングコストを抑制し、環境にやさしい庁舎計画を提案すること。 （基本的方針 5）
< 提案テーマ 5 > 現庁舎等の空間特質の継承について	現庁舎等の空間特質を踏まえ、区民に親しまれる世田谷区本庁舎等にふさわしい空間イメージを提案すること。 （基本的方針 1）
< 提案テーマ 6 > 工期短縮、業務継続を踏まえた施工計画ならびに事業費を抑制する建築計画について	工期短縮と工事期間中の災害対策本部機能の継続を踏まえた段階的な工事手順（ローリング計画）ならびに建設費を含む事業費を抑制する建築計画を提案すること。（実現性） 必須 - 本提案における想定概算建設費 本提案において想定する概略工程表

提案書の枚数は、< 業務実施方針～提案テーマ 6 >までを合わせて A3横 4～6枚を想定しています。

また、評価項目では公開プレゼンテーション及びヒアリングにおける、「説明能力、コミュニケーション能力、取組意欲」も評価対象とします。（ 評価項目ごとの配点は資料 1 4 によります。）

二次審査における模型の提出及び動画によるプレゼンテーションについて

1) 模型の提出について

プロポーザルにおいて模型の提出を認めている事例は、非常に限られている。

(プロポーザル募集要項にて模型の提出を認めると明記。質疑回答で 1,800×1,800 の台に載せることが可能な大きさと回答)

記載例

- ・公開プレゼンテーション時のみにおいて 1/500 未満 (1m×1m 以内等) の模型に限り提出を認める。
- ・二次審査提案時に模型の提出を認め、審査委員が任意に確認することができるようにする。
(保管場所の確保が必要)
- ・模型の提出は認めない。

2) 動画 (BIM 等による) を使用したプレゼンテーションについて

公開プレゼンテーションにおいては、二次審査提案書に追加資料する資料は認められていない事例がほとんどです。

その前提で、提案を超えない範囲で提案を補足するスライド (パワーポイント等) を認めている事例は多い。提案を補足するという範囲に「動画によるプレゼンテーション」を認めるかの確認が必要

以上